



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社トプコン
 コード番号 7732 URL <https://www.topcon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員 (氏名) 秋山 治彦 (TEL) 03-3558-2536
 財務本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	58,465	△15.9	△768	—	△1,797	—	△2,037	—
2020年3月期第2四半期	69,527	△1.1	3,810	△27.7	2,761	△41.8	895	△58.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,202百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △1,162百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△19.38	—
2020年3月期第2四半期	8.47	8.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	154,364	62,240	39.4	578.03
2020年3月期	161,721	64,659	39.0	600.03

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 60,801百万円 2020年3月期 63,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	10.00	24.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	△7.9	3,000	△44.3	1,000	△65.5	0	△100.0	0.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	108,156,842株	2020年3月期	108,130,842株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,969,205株	2020年3月期	2,969,179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	105,169,087株	2020年3月期2Q	105,782,914株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における経済環境は、地域によって状況は異なるものの、新型コロナウイルス感染拡大による経済停滞からの回復が徐々に見られ始め、ウィズコロナの中で経済活動が再開し始めました。しかしながら、一部地域ではロックダウンが継続し、また、感染再拡大の懸念や、米大統領選の行方、米中対立懸念の高まりなどの不安材料により、世界経済の先行きは依然として不透明であります。

このような経済環境にあつて当社グループは、『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を経営理念に掲げ、持続的な企業価値向上の実現に取り組んでまいりました。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

売上高は、58,465百万円（前年同期と比べ△15.9%の減少）となりました。世界各国における経済活動再開の動きに伴い、第1四半期前半をボトムに売上高は回復基調にあり、第2四半期はその回復ペースが更に加速しました。利益面では、経費・研究開発費等の固定費削減に取り組んだものの、前述の売上高減少の影響により、営業損失は△768百万円（前年同期と比べ△4,579百万円の減少）となり、経常損失は△1,797百万円（前年同期と比べ△4,559百万円の減少）となりました。これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は△2,037百万円（前年同期と比べ△2,933百万円の減少）となりました。

（事業セグメント毎の経営成績）

スマートインフラ事業の売上高は14,886百万円（前年同期と比べ△12.7%の減少）となりました。第1四半期に新型コロナウイルスの影響がありましたが、Essential Businessであり、第2四半期では第1四半期より堅調に売上が増加しました。国内においてはi-Construction適用工場の拡大や農業従事者に対する政府補助金の効果もあり売上増となりました。一方で、アジアの一部やインド・中東では新型コロナウイルス感染拡大長期化で売上が減少しました。第2四半期（3ヵ月）の営業利益は売上増及び販管費削減により第1四半期から大きく改善しましたが、当第2四半期連結累計期間（6ヶ月）の営業利益としては、売上高の減少と、前年度末の在庫消化のための一時的な稼働率の低下の影響等により1,777百万円（前年同期と比べ△28.7%の減少）となりました。

ポジショニング・カンパニーの売上高は32,141百万円（前年同期と比べ△13.4%の減少）となりました。第1四半期に欧米を中心にロックダウンの影響を受けましたが、Essential Businessであり、底堅い需要を背景に第2四半期は第1四半期より堅調に売上が増加しました。IT農業ではアフターマーケットの売上が伸長し、建設分野では、米国住宅建設市場の急回復によりレーザー製品の売上が伸長し、ICT自動化施工も回復傾向にあります。第2四半期（3ヶ月）の営業利益は販管費削減により第1四半期より大きく改善しましたが、当第2四半期連結累計期間（6ヶ月）の営業利益としては、売上高の減少により2,157百万円（前年同期と比べ△24.3%の減少）となりました。

アイケア事業では、主力の欧米市場において新型コロナウイルスによるロックダウンの影響で医療機関向けの営業活動は厳しく制限され、眼鏡店は閉鎖となり、需要が急激に低下しましたが、4月をボトムに回復傾向にあります。ソーシャルディスタンスに対応したリモート検眼機器の旺盛な需要、米国大手フランチャイズ眼鏡店からの大型受注獲得、中国での市場回復と販売網再編効果等により、第2四半期は第1四半期より急速に回復しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間（6ヶ月）の売上高は16,785百万円（前年同期と比べ△24.4%の減少）となり、利益面では、固定費削減に取り組んだものの、売上高減少の影響により、営業損失は△2,388百万円（前年同期と比べ△3,004百万円の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①当第2四半期の財政状態の状況

当第2四半期末の財政状態は、総資産が154,364百万円、純資産が62,240百万円、自己資本比率が39.4%となりました。総資産は、現金及び預金等が増加したものの、売上債権やたな卸資産、固定資産等が減少したこと等により、前期末（2020年3月期末）に比べ、7,356百万円減少いたしました。また、純資産は、利益剰余金等が減少したこと

等により、2,418百万円減少いたしました。これらの結果、自己資本比率は、前期末(2020年3月期末)から0.4%の増加となりました。

②当第2四半期のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間(6ヶ月)における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、固定資産の取得等による「資金」の減少があったものの、営業活動によるキャッシュ・フロー等の「資金」の増加により、前年度末に比べ、2,027百万円増加し、17,811百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による「資金」の増加は、7,588百万円(前年同期は5,617百万円の増加)となりました。これは主に、買入債務が減少したこと等により「資金」の減少があったものの、売上債権やたな卸資産が減少したこと等により「資金」が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による「資金」の減少は、4,036百万円(前年同期は2,160百万円の減少)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出3,366百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による「資金」の減少は、1,403百万円(前年同期は3,320百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額1,051百万円等による「資金」の減少によるものであります。また、社債発行により20,000百万円の資金調達を行ないましたが、社債の償還及び借入金返済に充当しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年7月31日に公表致しました前回予想から変更はございません。なお、今後の業績推移、市況動向を注視し、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,134	18,824
受取手形及び売掛金	40,631	33,490
商品及び製品	21,063	19,446
仕掛品	1,510	1,668
原材料及び貯蔵品	13,188	13,662
その他	8,555	7,419
貸倒引当金	△2,555	△2,562
流動資産合計	98,528	91,950
固定資産		
有形固定資産	20,738	21,222
無形固定資産		
のれん	10,856	9,776
その他	17,826	17,060
無形固定資産合計	28,683	26,837
投資その他の資産	13,770	14,354
固定資産合計	63,192	62,414
資産合計	161,721	154,364
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,981	8,127
1年内償還予定の社債	10,000	—
短期借入金	26,831	15,658
リース債務	1,260	1,352
未払法人税等	1,159	447
製品保証引当金	1,124	930
その他	15,009	16,216
流動負債合計	68,366	42,733
固定負債		
社債	10,000	30,000
長期借入金	4,397	5,981
リース債務	4,883	4,374
役員退職慰労引当金	44	48
退職給付に係る負債	5,263	5,197
その他	4,107	3,788
固定負債合計	28,695	49,390
負債合計	97,062	92,124

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,680	16,697
資本剰余金	20,630	20,575
利益剰余金	35,749	32,660
自己株式	△3,170	△3,170
株主資本合計	69,889	66,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	434	727
繰延ヘッジ損益	△47	△13
為替換算調整勘定	△6,278	△5,878
退職給付に係る調整累計額	△897	△796
その他の包括利益累計額合計	△6,788	△5,961
新株予約権	58	47
非支配株主持分	1,499	1,391
純資産合計	64,659	62,240
負債純資産合計	161,721	154,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	69,527	58,465
売上原価	32,555	30,075
売上総利益	36,972	28,389
販売費及び一般管理費	33,161	29,158
営業利益又は営業損失(△)	3,810	△768
営業外収益		
受取利息	103	47
受取配当金	31	30
持分法による投資利益	9	—
助成金収入	—	92
その他	101	122
営業外収益合計	246	293
営業外費用		
支払利息	472	345
持分法による投資損失	—	194
為替差損	578	184
その他	245	598
営業外費用合計	1,295	1,322
経常利益又は経常損失(△)	2,761	△1,797
特別損失		
特別退職金	—	162
子会社株式売却損	555	—
特別損失合計	555	162
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,205	△1,960
法人税、住民税及び事業税	776	356
法人税等調整額	548	△309
法人税等合計	1,324	47
四半期純利益又は四半期純損失(△)	881	△2,007
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14	30
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	895	△2,037

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	881	△2,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161	293
繰延ヘッジ損益	0	33
為替換算調整勘定	△2,280	325
退職給付に係る調整額	85	101
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	52
その他の包括利益合計	△2,043	805
四半期包括利益	△1,162	△1,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,086	△1,210
非支配株主に係る四半期包括利益	△75	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,205	△1,960
減価償却費	3,051	3,342
のれん償却額	1,012	955
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30	41
受取利息及び受取配当金	△135	△78
支払利息	472	345
特別退職金	—	162
子会社株式売却損益(△は益)	555	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△863	62
売上債権の増減額(△は増加)	4,845	6,646
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,122	602
未収入金の増減額(△は増加)	846	1,342
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,151	△4,735
未払金の増減額(△は減少)	△834	△23
未払費用の増減額(△は減少)	△287	1,363
その他	518	996
小計	8,082	9,063
利息及び配当金の受取額	144	70
利息の支払額	△472	△327
特別退職金の支払額	—	△162
法人税等の支払額	△2,137	△1,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,617	7,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△286	△724
定期預金の払戻による収入	590	55
有形固定資産の取得による支出	△1,653	△2,486
有形固定資産の売却による収入	117	97
無形固定資産の取得による支出	△1,139	△879
投資有価証券の取得による支出	△1	△161
事業譲受による支出	—	△19
長期貸付けによる支出	△5	△3
その他	216	85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,160	△4,036

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,524	△9,092
長期借入れによる収入	—	2,312
長期借入金の返済による支出	△2,770	△2,649
社債の発行による収入	—	20,000
社債の償還による支出	—	△10,000
リース債務の返済による支出	△669	△732
配当金の支払額	△1,272	△1,051
自己株式の取得による支出	△1,078	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△139
その他	△54	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,320	△1,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	△320	△120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△184	2,027
現金及び現金同等物の期首残高	12,935	15,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,751	17,811

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	スマートインフラ 事業	ポジショニング・ カンパニー	アイケア事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,066	34,711	22,063	686	69,527	—	69,527
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,991	2,405	139	0	7,535	△7,535	—
計	17,057	37,116	22,202	686	77,063	△7,535	69,527
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,492	2,850	616	△62	5,896	△2,086	3,810

(注) セグメント利益の調整額△2,086百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	スマートインフラ 事業	ポジショニング・ カンパニー	アイケア事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,016	30,289	16,659	499	58,465	—	58,465
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,870	1,851	126	1	5,849	△5,849	—
計	14,886	32,141	16,785	500	64,314	△5,849	58,465
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,777	2,157	△2,388	△255	1,291	△2,060	△768

(注) セグメント利益の調整額△2,060百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	合計
海外売上高	20,816	16,755	4,141	6,978	5,640	54,333
連結売上高						69,527
連結売上高比(%)	29.9	24.1	6.0	10.0	8.1	78.1

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	合計
海外売上高	19,064	13,443	3,942	4,575	3,532	44,559
連結売上高						58,465
連結売上高比(%)	32.6	23.0	6.7	7.8	6.0	76.2

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 「その他」の区分に所属する主な国又は地域の内訳は以下のとおりであります。
 中南米、中東、ロシア、アフリカ